

審査講評

日事連建築賞選考委員会委員長 坂本一成

用途転換、豊かな内部空間

今年度の国土交通大臣賞は山梨市庁舎 東館です。この建築は、市町村合併を機に電話機製造の工場からコンバージョンした、甲府盆地に建つ市庁舎です。この建物では、工場の内部空間を利用して1階に窓口業務を中心とした事務執務室・保険センターを、2階に議場をはじめとした議会関係諸室を配することで用途変更による機能転化を実現しており、また適切な吹き抜けや明快な動線によって広がりのある豊かな内部空間を形成しています。耐震基準確保のための、架構の外側のPCa-PC造のアウトフレームは、この建物にフレキシビリティの高い内部空間を与えているばかりでなく、市庁舎としての特徴ある外形のファサードの新たな意匠を形成しています。このように、この建築はコンバージョンによるサスティナビリティを前提としたエコロジーデザインとしての評価に留まらず、同時に新設の庁舎建築としての完成度の高い空間を形成したのも特に評価され、国土交通大臣賞に選定されました。

単純な架構、園児に優しく

日事連会長賞はこもれびの舎保育園です。この建築は、五島列島の福江の自然豊かな海岸を臨んで建つ小規模な保育園です。この保育園は5.4m(三間)の正方形グリッドによる単位を平面的に縦横3×7列に並べ、短辺方向に切妻屋根を鋸歯状に架けた

単純な架構の建物です。内部間仕切りはほとんどない一室空間となっており、切妻天井の集合による優しく楽しい内部空間が保育園児の豊かなアクティビティを包含する場となっています。決して上等の仕上げとはいえない、また精緻なディテールを持たない、この単純で素朴な構成の建物は、技術至上主義化して、ソフィスティケートされた現代建築に対して批評性を与え、もうひとつの別の建築の可能性を示すものとして印象深い建物となっています。自然エネルギーの利用も含め、建物と人との豊かな関わりを感じさせる建築として特に評価され、日事連会長賞に選定されました。

新たな空間表現の可能性

一般建築部門の優秀賞は以下の3点です。

山口市秋穂地域交流センター・山口市立秋穂図書館は、山口市内の田園地帯に建つ、地域コミュニティのための図書館・体育館・生涯学習館からなる複合施設です。周辺環境との調和を意図した平屋の低い建物はボリュームを分節し、環境に馴染んだ信頼感ある外形を構成しています。センターと図書館は交流ロビーで分節され、親しみやすい仕様で仕上げられた各室の領域は、深い軒下に続く低い天井で連続した広がりをもって展開しており、豊かな内部空間が形成されています。様々な地球環境維持の取組みを適切に対応された設計で優れた建築となっています。

木材会館は、東京都の木材問屋組合の会館本部を中心とするオフィスビルです。一部の屋根架構の構造材や外装材、さらに内部仕上げ材に積極的に木材使用の可能性を、流通・法的制限・防火といった様々な側面から探求した建築です。現代木造技術を駆使することで、ヒノキの角材による外装のシェルフ状のファサードの形成、ホール部の襜状に組み込まれた木材集合による架構の形成などに見られるような木材による建築空間の可能性をもたらしたばかりでなく、新たな空間表現をもった現代建築のあり方を



現地調査風景

示した優れた建築となっています。

近畿大学食堂棟 BLOSSOM CAFÉ は、東大阪市の近畿大学キャンパスに建つ学生のための大学食堂です。この建物では食事を供給するテナント（調理販売）部を1階に配し、ダイニングホール（食事室）を多層にわたって有機的に展開することによって、食事の場としてのみでなく、学生が集まり活発な交流がなされる広場的スペースが形成されています。大階段・ピロティー・吹き抜けなどによって、階層ごとにずれることで生まれる内部の立体的広場を中心としたこの建物は、学生の活動に対応した質の高い空間をもった優れた建築となっています。

周辺環境と密接な関わり

小規模建築部門の優秀賞は以下の3点です。

ヨコハマアパートメントは、横浜の高密集住宅地に建つ極めて小規模な集合住宅です。この建物では、4戸の住戸が5m高のピロティーの上部に配され、それぞれの住戸は独立した個々の階段によって、下のピロティー部である「広場」から至るという単純な図式で構成されています。この広場はビニールカーテンだけで建物外と仕切られた半外部的空間となっており、居住者共有のサロン・作業場・ロビーといったコモンスペースとなっています。さらに、地域の公民館的なコミュニティスペースの役割も果たすなど、周辺環境と密接に関わった環境性の高い優れた建築となっています。

清荒神清澄寺 史料館は、宝塚市の古刹で有名な社寺のコンパクトな展示ギャラリーです。この建築は、緑豊かな環境の境内で寄棟の大屋根に覆われ、小さな展示室が壁で囲んだ形で設けられ、さらにその外側をガラスで囲んで回廊とした、極めて単純な構成となっています。特に、ガラスによって支えられたかに思われる軒の出の大きい瓦の重厚な大屋根の外形は、境内の環境に効果的な役割を果たしており、強いモニュメンタリティーを形成しています。また各部の納まりを含めた仕上げまで密度の高い優れたデザインとなっており、極めて良質な建築を実現させています。

慈眼山 成願寺は、名古屋市北区に建つ古刹の建



現地調査風景

て替えられた伽藍建築です。中心の建物である本堂は、緩やかな曲面の瓦屋根と透明なガラスによるカーテンウォールの外壁の構成で、既存の社寺建築には見られない新鮮で印象的な建築といえます。さらに、この構成と25mm厚のフラットバーの組み合わせによる柱・梁などの主体構造とが相まって、強い伝統を感じる空間の中で密度の高い現代性が表現されています。このように、この建築は本堂、客殿等、寺院全体において、伝統性と現代性を重ねることによって生まれる新たな表現を求めた意欲的な力作であります。

* * *

以上の他に、一般建築部門及び小規模建築部門それぞれにおいて、優秀賞に次ぐ奨励賞が選定されました。一般建築部門では石岡市立 やさと中央保育所、小江戸蔵里（川越市産業観光館）、社会福祉法人小羊学園 三方原スクエア、観音寺市斎場 燧望苑、築上町火葬場の5作品、小規模建築部門では佐竹台の家 TELEVISION HOUSE、House in TAKAHAMA、A-ring—アルミ構造体による環境共生住宅一、桜色の家、雲井町の家 の5作品です。いずれも質の高い設計で、建築計画や構成技術に新しい提案を含んだ優れた作品です。

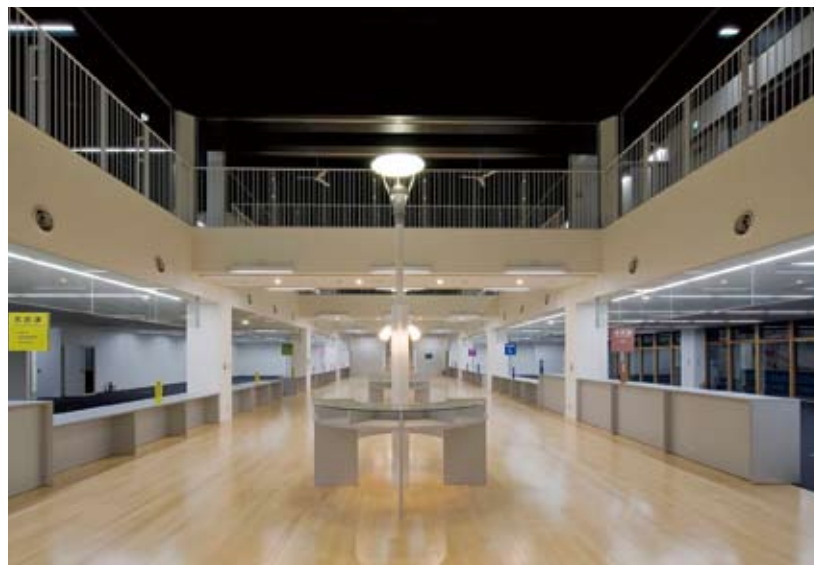
以上、審査講評とします。本年度は数年前の応募数に留まりましたが、来年度はより多くの会員の参加を期待します。



国土交通大臣賞

山梨市庁舎 東館 | 梓設計（東京）

操業終了時点のまま保存されていた、昭和45年築の工場棟の一部と平成元年築の技術管理棟を庁舎へとコンバージョンしたプロジェクト。PCa-PC造アウトフレームによる耐震改修の結果、耐震基準に満たない東館の既存の壁はすべて取り払い、明るく開放感ある室内環境を実現した。スラブを設けアウトフレームにせん断力を効果的に伝達させつつ、夏の日差しを抑制するなど、環境と共生する外観を創出している。東館1階には、市民利用が多い窓口部門、2階には市民スペースと議会部門を配置した。2階床は可能な限り取り払い、だれもが気軽に訪れることができる、開放的な庁舎を実現している。



建設地：山梨県山梨市／用途：市庁舎／構造：RC造、S造／階数：地上5階、屋上1階／面積：敷地面積 39,900.94㎡／建築面積 8,379.32㎡／延面積 5,515.62㎡

